

『あこう』 クワ科イチジク属の常緑高木



- ・幹は分岐が多く、樹高は約10 - 20mぐらい。大小の枝を四方に広げ、幹の大きなものは径1mにもなり、幹の周囲から気根を出す。
- ・樹皮は、淡い褐色で溝があり、きめ細かい。
- ・葉は、枝先に群生し、新葉は帯赤色。葉質は厚く長さ20cm程度。
- ・葉柄は3 - 5cm。
- ・葉枝を傷つけると白乳液が出る。
- ・開花期が5月で、その後結実し、8 - 9月に熟し、淡紫色となる。
- ・暖帯南部から亜熱帯に分布し、通常、他樹に着生し、気根でその樹を覆って枯らす。そのため絞め殺しの木と呼ばれている。
- ・街路樹、防風樹などとして植えられている。
- ・材は、挽き物、樽、器具、薪炭などに使われる。
- ・分布 本州(和歌山県)、四国、九州、琉球、台湾、中国南部